

文藝言語研究

文藝篇

目次

Thomas Dekker in 1611: <i>The Roaring Girl</i> における時代性と演劇的意識	佐野隆弥	1
Der Fremde – Elfriede Jelinek und Nicolas Mahler	Herrad Heselhaus	13

言語篇

目次

現代日本語における「限り」の意味・用法	川島拓馬	25
ビザンティン修道院典礼の本質 — 一夜半課における詩編第 119 (118) 編の意味づけをめぐって—	秋山学	49

2020

78

筑波大学大学院

人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

編 集 後 記

第78巻をお届けします。

わたくしごとで恐縮ですが、編集子、今回2回目の編集作業となります。1度目は2012年ロンドン・オリンピックの年、2度目の今年は、奇しくも2020東京大会の年と思いきや…。

COVID-19の猖獗ともなう全授業科目のオンライン化と、学位プログラムのスタートという疾風怒濤の嵐の中、論文をお寄せくださった先生方、査読を担当してくださった先生方に、心より御礼申し上げます。

(佐野 隆弥)

文藝言語研究 (第78巻)

2020年10月31日発行

発 行 所 筑波大学大学院
人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

茨城県つくば市天王台1丁目1番地
電 話 (029)853-4340 (〒305-8571)

印 刷 所 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE

Literature

CONTENTS

Thomas Dekker in 1611: Theatrical Consciousness in <i>The Roaring Girl</i>	SANO Takaya	1
Der Fremde – Elfriede Jelinek und Nicolas Mahler	Herrad Heselhaus	13

Language

CONTENTS

The Meaning and Usage of <i>Kagiri</i> in Contemporary Japanese	KAWASHIMA Takuma	25
Essence of the Byzantine Monastic Office: Concerning the Significance of the Psalm 119 (118) in the Byzantine Midnight Office	AKIYAMA Manabu	49

2020

78

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba